



『まめぞうのぼうけん』

いわたまこ／作 BL出版 2024

うみの まんなかに ある ちいさな しみに まめぞうむしの まめぞうが ひとりで すんでいました。あるひ、まめぞうは あたらしい ともだちを さがしに、おおきな うみへと ふねを こぎだしました。そこへ まちかまえるのは ウミネコや クラゲの たいぐんでした。



『トウモロコシのおもいで』

早秋丸／作 小川糸／訳 講談社 2024

いろいろな ことを わすれてしまった おばあちゃんと いっしょに、トウモロコシをとった、あの なつの ひの ことを、わたしは おぼえています。はたけの うえに ひろがる あおいそら、きれいな チョウたち、うつくしい ゆうぐれとともに、たいせつな おもいでです。



『なんのつぼみ? きせつのつぼみをみつけよう! なつ』

小池安比古／監修 平石順一／写真 理論社 2025

なつは しょくぶつが ぐんぐんそだち たくさんのはなに であえます。このほんでは、あさがおや ひまわりなどの なつにさく はなの つぼみを しょうかいして います。いろんな かたちや いろの つぼみを しると、どんなはなが さくのか わくわくしてきます。



『わすれていいから』

大森裕子／著 KADOKAWA 2024

ちいさな きじねこが ひろわれてきた とき、いえには うまれたばかりの おとこの あかちゃんが いました。それから ずっと きじねこと おとこのこは いっしょでした。おとこのこは どんどん おおきくなり、すこしずつ きじねこの そばから いなくなることが ふえてきました。



『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』

那須正幹/さく 武田美穂/え ポプラ社 2025

げんばくで おやも きょうだいも なくした ばあちゃんは、しんだ おにいさんと まごの ぼくを いつも まちがえます。「こどもを ころしたり かなしい おもいでを のこす せんそうを ぜったいに しないと ちかうよ。」 なすさんからの たいせつな メッセージ です。



このブックリストは出版者の許可を得て表紙に掲載しています。

2025年7月

発行:宮崎県立図書館 児童図書室(こどもしつ)

電話:(0985)29-2596



『わたりましょ』

北村人／作 こぐま社 2025

みぎみて ひだりみて、おうだんぼどうを わたるのは、あひる、ばんだ、かめ、かえる。ぺったぺった、ごろりんごろりん。うごきはそれぞれですが、みんなで おなじところに おかうようです。どこにいくのかな？ おでかけの たのしさが つたわってくる えほんです。



『おいもちゃん』

樋勝朋巳／作 こぐま社 2024

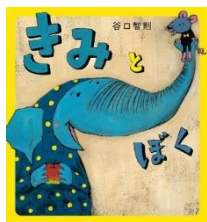
おいもちゃんが、くつしたを ぬいで、ざぶーんと うみへとびこみました。プカプカ きもちよく およいで いたのですが、しばらくすると「はっくしょん、はっくしょん。」 かぜを ひいたのかな。ともだちの メルちゃんが きて おせわを してくれました。



『オバケや』

富安陽子／文 鈴木のりたけ／絵 小学館 2024

「オバケは おらんかね、とらえて しんぜましょう。」 オバケの ことなら オバケやに まかせしましょう。いえの なかや まちのあちこちに、オバケは かくれています。おどろかせたり、いたずらしたり、そんな オバケを つかまえて あるくのが オバケやの しごとです。



『きみとぼく』

谷口智則／著 文溪堂 2024

きみと ぼくは ちがうところが おおいけど なかよしです。おおきいと ちいさい。きみは やさしくて ぼくは ずるい。りんごを ひとりじめした ぼくは、きみと わけあうことで、たいせつな ことに きづきました。ともだちに やさしくなれる おはなしです。



『ナガノさん まっちゃアイスの巻』

中川ひろたか／作 長谷川義史／絵 アリス館 2024

なおちゃんの まっちゃアイスを ぜんぶたべてしまった ナガノさん。いそいで アイスクリームやさんを おいかけます。すると まっちゃアイスの うわさに ナガノさんの うしろを いのうえさん おすもうさん テレビきよくが おいかけきて ながい ぎょうれつが できました。



『かげわに』

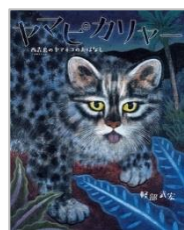
岩田 明子／著 文溪堂 2024

にんげんたちが ねたあと ろうかに わきでてる かげわに。とらたは かげわにが いちばん こわいのです。よる トイレに いくとき かげわにの せなかに のせられた そうたは いろとりどりの かげたちが うたっている かげの ひろばに つれてこられました。



『わかっていないこと わかっていること』

国立科学博物館／監修 きのした さとみ／ぶん よしもりひろすけ／え 小学館集英社プロダクション 2024
せかいには わかっていること いないことが たくさんあります。ティラノサウルスは うでが みじかかったことが わかっていますが、なぜ みじかかったのかは わかっていません。からだの バランスをとっていたのかな。ぎもんを もつことは たのしいですね。



『ヤマピカリヤー 西表島のヤマネコのおはなし』

軽部 武宏／作 小峰書店 2024

ヤマピカリヤーは イリオモテヤマネコの なまえです。いりおもてじまには、おかし とても ながいきをした ヤマネコがいて、ある つきよのばんに、サザエの くつを はいて、うみの うえを おどり あるいて いった という いいつたえが あります。



『ちんあなごのしんかいツアー』

大塚健太／作 くさかみなこ／絵 講談社 2024

ちんあなごたちは、チョウチンアンコウごうに のって しんかい ツアーに 出かけました。ふかい うみの そこには、めだまの おおきな さかなや、かわいい クリオネ、ダイオウイカなど、ふしぎな さかなや いきものが いて、はじめて みる もの ばかりでした。



『うみのまもの』

前田次郎／著 徳間書店 2024

おとこのこは、えものを とりに、うみに でした。よくばって えものを とりすぎると、うみの まものが あらわれると きいていましたが、そんなものは いないと おもい、えものを ねらいつづけました。すると うみの そこに くらい かげが あらわれました。